

1 教科について

国語

昨年度の課題

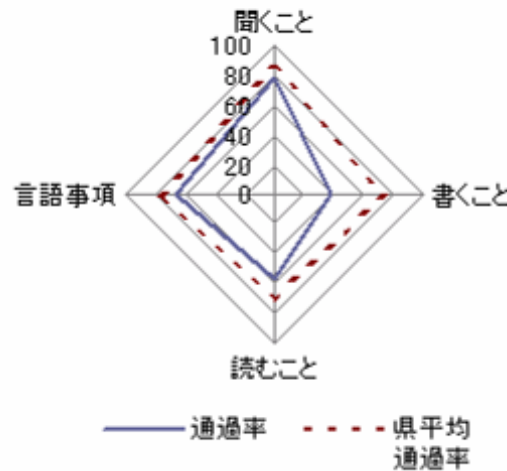
- ① 現代仮名遣いに直す等、文語における基本的な決まりが理解できておらず、県の平均を23.4%下回った。無答率が20%程度あることから、文語の基本が定着していない。(通過率66.7%)
- ② 文章中の指示語の内容を正確にとらえ、内容理解に役立てることができない。県の平均通過率を21.5%下回っている。(通過率54.2%)

昨年度の課題を受けて
具体的に取組んだ事項

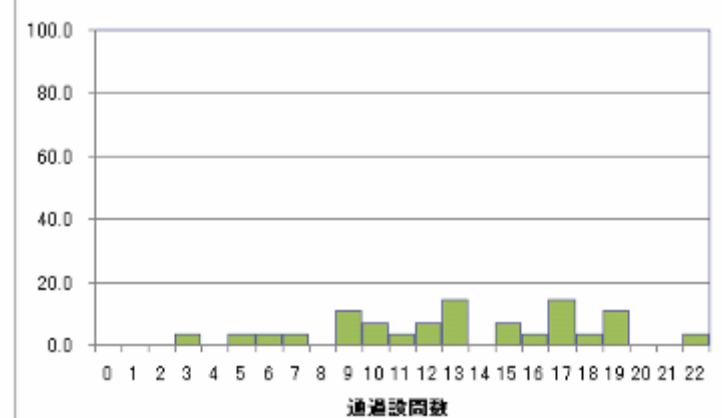
- ① 文語の基本が身に付くよう繰り返し学習した。漢字だけでなく、歴史的仮名遣いや古典単語の意味を確認する小テストを定期的に行った。
- ② ゲーム的な要素等を取入れ、歴史的仮名遣いや古典単語に対する興味を持たせた。
- ③ 文章中の指示語に着目し、内容を正確にとらえられているか、授業中にワークシート等を用いて確認した。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 59.4% 県平均 75.0%

領域別平均通過率(国語)



通過設問数ごとの生徒割合(国語)



重点課題 ◎:「基礎・基本」定着状況調査
◇:全国学力・学習状況調査

- ◎・・・記述する内容の整理ができていない。(県平均との差-33.4ポイント)
- ◎・・・意見の根拠となる適切な理由を書くことができない。(県平均との差-42.6ポイント)
- ◇・・・語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができない。(全国平均との差-25.3ポイント)

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ① 文章を書く際に、序論・本論・結論などの構成を意識させ、構成メモを活用する等しながら記述する内容を整理させる。
- ② 根拠を明確にした表現を徹底させ、ノート活用を工夫する。
- ③ 同音異義語や多義語など、言語事項の小テストを定期的に行い、語句の意味や用法を確認させる。

来年度の目標値

- 「基礎・基本」定着状況調査については、県平均との差を-10ポイント以内にする。
- 全国学力・学習状況調査については、全国平均との差を-5ポイント以内にする。

指導方法等の改善計画について

数 学

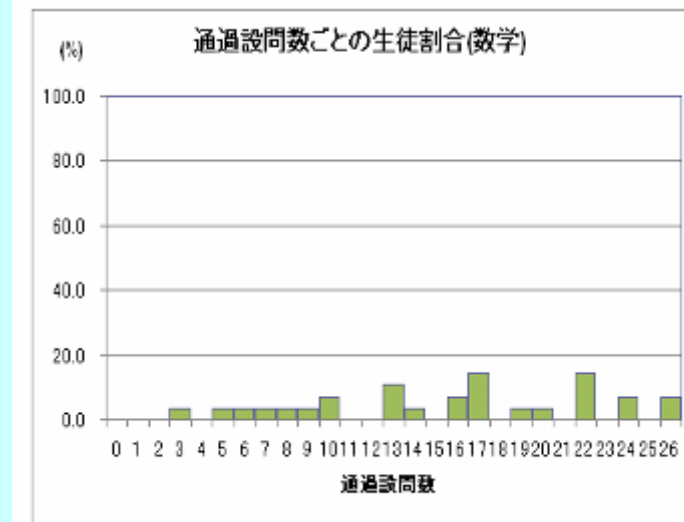
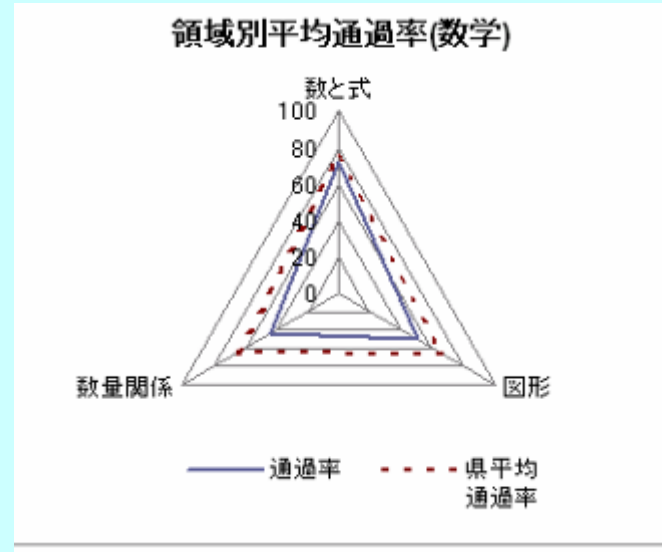
昨年度の課題

- ① 規則性を見つけて、その関係を文字式で適切に表すことができない。無答が30%近くあり、規則性を見つけないことができない。(通過率8.3%)
- ② グラフを読み取り、さらにグラフ外の部分を考察することができない。(通過率20.8%)

昨年度の課題を受けて 具体的に取り組んだ事項

- ① 文字を使って簡単な数量を表すことができるよう繰り返し練習をした。これまでのパターン化だけでなくパズル的な要素を利用し、いろいろな規則性を考えていく練習を取入れることにより楽しみながら文字式をつくり理論的思考ができるよう取組んだ。
- ② グラフを読み取り、式にしたり、対応表と関連づけることにより、グラフの表す特徴をつかむ練習をした。プリントを活用したドリルだけでなくパソコンを使用したり、興味を持たせる授業を工夫した。
- ③ 現在の状況をしっかりと捉え、各学年で放課後のSHR後にドリル学習を取入れ、基本事項の定着を図った。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **60.2 %** 県平均 **69.7 %**



重点課題

- ◎ : 「基礎・基本」定着状況調査
- ◇ : 全国学力・学習状況調査

- ◎ ……空間図形の辺や面の位置関係をつかめていない。(通過率17.9%)
- ◎ ……立体図形の体積を求めることができない。(通過率32.1%)
- ◇ ……回転体の認識や展開図の辺の位置関係をつかめていない。(全国差-30ポイント以上)

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ① 空間図形を展開図から組立てたり、透明の立体を利用して辺や面の位置関係を理解させる。
- ② いろいろな立体図形の体積を求めるドリル練習を繰り返し、定着を図る。
- ③ 実際に展開図から立体を作成したり、コンピュータなどを活用して、体験的学習により空間図形の認識の定着を図る。

来年度の目標値

- 「基礎・基本」定着状況調査については、県平均との差を -5ポイント以内にする。
- 全国学力・学習状況調査については、全国平均との差を -10ポイント以内にする。

指導方法等の改善計画について

英語

昨年度の課題

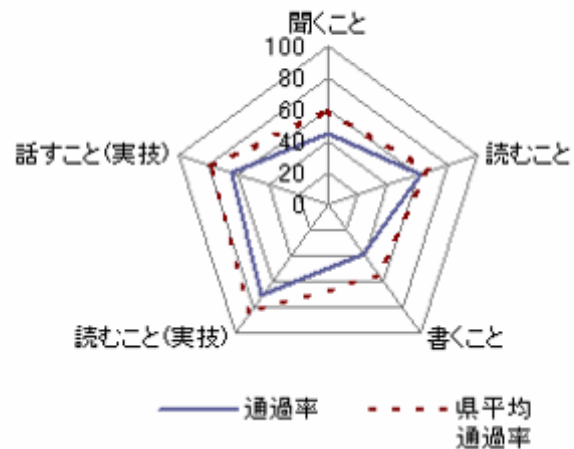
- ①「読むこと（実技）」 特に内容を考えた音読の力が乏しく、文章自体が読めない。通過率は県と比較して23.6%下回る。
- ②「書くこと」 書くことに関する問題の通過率は30.3%と全体的に低く、特につながりのある英文を書くことの力が不足している。

昨年度の課題を受けて 具体的に取り組んだ事項

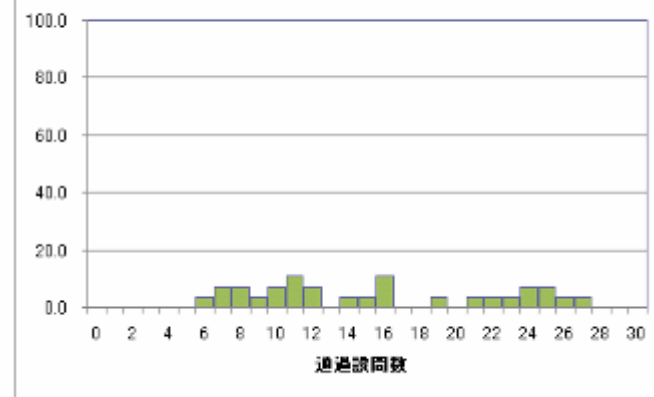
- ①「読むこと（実技）」
 - ・ 全学年とも、チャンクによるオーラル練習を行った。
 - ・ 定期的にチャンクの実技テストを行い、生徒の進捗状況を確認した。
 - ・ 本文にスラッシュを入れ、その語句の内容をつかませた。
- ②「書くこと」
 - ・ 例文を提示し、真似をしながら書くことで、英文の書き方を学ばせた。
 - ・ 定期的にジャーナルを課題にし、テーマに沿った文章を書くことに慣れさせた。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **51.8%** 県平均 **65.2%**

領域別平均通過率(英語)



通過設問数ごとの生徒割合(英語)



重点課題 ◎:「基礎・基本」定着状況調査 ◇:全国学力・学習状況調査

- ◎・・・「書くこと」
書くことの通過率は、県平均と比べて全体的に約20%低い。特に基本的な文の決まりを理解した作文では、県平均と比較して21.8%低く、基本的な文構造の理解がかなり不足している。
- ◎・・・「聞くこと」
断片的な聞き取りは平均的な箇所もあるが、英文の概要や要点を掴む問題の通過率が極端に低い。県平均より37.7%下回り、会話の流れの中で大切な部分を聞き取る力が不足している。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

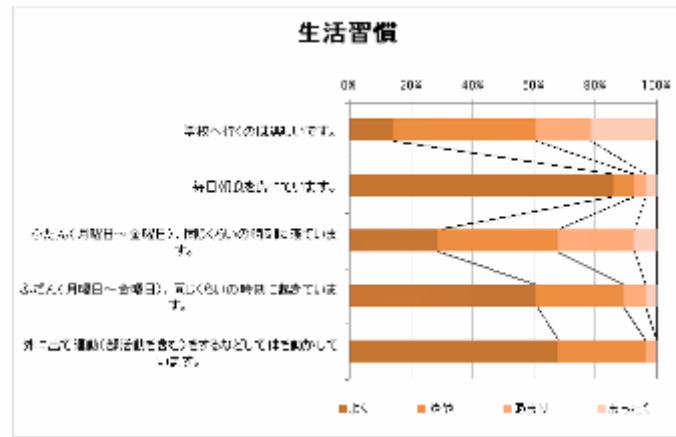
- ◎・・・「書くこと」
 - ・ 基本文の単語を換えて、数多くの文が書けるようノートに工夫を加え、ドリル練習をする。
 - ・ チャンクを徹底して暗唱させ、書くことへとつなげる。
 - ・ 定期的にジャーナルを家庭学習の課題にし、章を書くことに慣れさせる。
- ◎・・・「聞くこと」
 - ・ 本文を区切り、意味を考えさせながら、ポイントとなる箇所を意識させて読ませる。→ 同じ文をリスニングさせる。
 - ・ 既習の短めの長文を聞かせ、クイズ的要素を取り入れ、その内容の大意を掴ませる。

来年度の目標値

- 「書くこと」の領域、特に「基本的な文の決まりを理解した作文」において、通過率を県平均に到達させる。
- 「聞くこと」の領域、特に「概要や要点の把握」において、通過率を県平均に到達させる。

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査，生徒質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：学校質問紙，生徒質問紙）

(1) 生活・学習

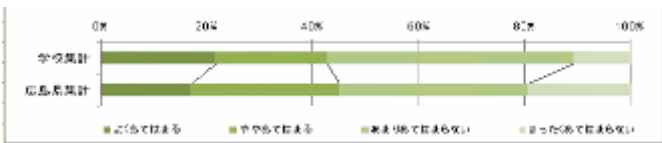


改善したい点 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	今後の具体的な取組みの内容
◎・・・読書量が少ない。家庭学習が定着していない。 ◇・・・図書館の活用が少ない。計画的に学習できない。	◎・・・生徒が利用しやすい図書室の整備・工夫を行うなど，図書委員会活動の活性化を図る。また，朝の読書タイムの工夫・改善を図る。学習に関しては，定期的に家庭学習強化週間を設け，計画的に取組めるよう，個別指導を行う。また，ノート活用の工夫・改善し，ノートによる自学ができるよう宿題の工夫を行う。 ◇・・・同上

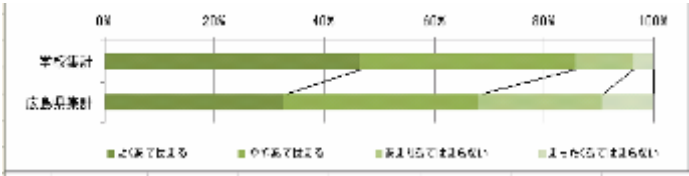
来年度の目標値	目標値
	<ul style="list-style-type: none"> 読書をしない生徒の割合を15%以下にする。 「計画的に学習をする」については肯定的意見が60%を超えるように取組む。

(2) 教科

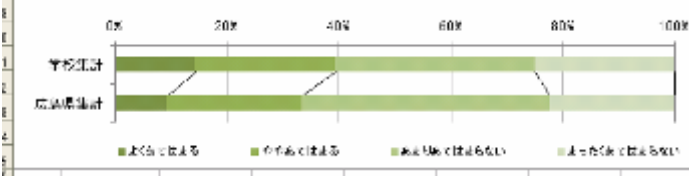
国語の授業では，分からない言葉や漢字は，辞書を使って調べています。



数学の授業はよく分かります。



英語の授業では，自分の考えや気持ちなどを英語で話しています。



	生徒の回答と学校の指導についての課題 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	授業改善の方向性や具体的な取組み
国語	◎・・・内容理解に重要な部分に注意して読んでいない。 ◇・・・意見等を発表するとき，相手に伝わりやすいよう話の組立てを工夫することを意識していない。	◎・・・中心となる言葉や文に線を引き，内容をまとめて書かせたものを発表させる。 ◇・・・スピーチ等，聞き手を意識した発表の場を設ける。
数学	◎・・・繰り返し学習や説明することを苦手としている。 ◇・・・数学で学習したことが，普段の生活に結びついていない。	◎・・・ドリルの形を工夫し，関心・意欲を持たせるよう繰り返し学習を行う。 ◎・・・答に対して，その求め方について説明させる機会を多くつくる。 ◇・・・身近な課題を授業に多く取入れる。
英語	◎・・・単語や文を実際に発音するなどしたり，繰り返して練習をすることを苦手としている生徒が多い。 ◎・・・自分の考えや気持ちなどを相手に正しく伝えることを苦手としている生徒が多い。	◎・・・ドリル練習に関わっては，個々の目標を設定させたりタイムを競わせたりなどして，指導方法に変化をもたせ，繰り返して書かせる。 ◎・・・毎時，簡単な会話の時間を設定し，2往復以上の会話が続くよう工夫する。

来年度の目標値	目標値
	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返し学習をすることに関する肯定的意見が65%を超えるよう取組む。 教科学習を実生活に関わる事象と関連付けさせ，意欲的に取組める生徒割合を60%以上にする。

指導改善のための実施スケジュール

	～8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
	Plan	Do			Check	検証	Action	Check	
	<p>結果の分析・H20の改善計画の見直し H21の改善計画の実施</p>				<p>次年度の計画</p>				
【教科】									
国語	結果の分析, 計画	言語事項の小テストを実施する。	言語事項の小テストを実施する。構成メモを活用した授業を行う。		確認テストの実施	2学期までに定着していない部分の強化を行う。	確認テストの実施	次年度に向けて, 改善計画を作成する。	
数学	結果の分析, 計画	ドリル, 班学習の実施		立体図形の作製やコンピュータの活用	テストで検証	再修正	テストで検証	次年度に向けて, 改善計画を作成	
英語	結果の分析, 計画	基本文型のドリルや英文の大意を掴む練習をする。ジャーナルのチェックを行う。	基本文型のドリルや英文の大意を掴む練習をする。ジャーナルのチェックを行う。	単元テスト・定期試験で, 定着度の確認をする。	定着している部分について, ドリルを改善・強化していく。ジャーナルのチェックを行う。	定着している部分について, ドリルを改善・強化していく。ジャーナルのチェックを行う。	「書くこと」「聞くこと」の定着度の確認をする。	次年度に向けて, 改善計画を作成する。	
【生活・学習】	結果の分析・整理	<ul style="list-style-type: none"> 生徒面談を行い, 実態把握をする。 委員会活動の活性化を図る。 改善計画の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭連携 委員会活動の活性化を図る。 ノートを紹介した家庭学習の集中取組を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭連携 委員会活動の活性化を図る。 ノートを紹介した家庭学習の集中取組を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭連携 委員会活動の活性化を図る。 ノートを紹介した家庭学習の集中取組を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭連携 委員会活動の活性化を図る。 アンケート調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査の結果分析と改善計画の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 次年度の改善計画の作成 	